

CIGSセミナー

AI・ロボットを実装した日本社会：

ワークプレイス・ウェルビーイングと生産性向上に向けた標準化戦略 Part II

IGSAP beyond EXPO

～ホリスティックアプローチの深化～

東京理科大学大学院経営学研究科技術経営専攻 教授

一般財団法人セーフティグローバル推進機構 会長

2025年10月10日

井上 悟志

IGSAPについて

会長あいさつ

概要・理念

役員一覧・名誉会長

会員一覧・関係団体

組織図

事業報告・決算報告

定款・規程

所在地

IGSAPパンフレット



2025年6月から会長に就任した井上悟志です。初代会長で、現在は名誉会長に就任された向殿政男先生からバトンを引き継ぎました。

セーフティグローバル推進機構（IGSAP）では、人や社会の安全は、技術的側面、人間的側面、そして組織的側面のそれぞれが協調して、総合的（Holistic）に、統一的に取り組むべきものであると考えています。

世界では今、解決すべき持続可能な開発目標（SDGs）や産業のスマート化（第4次産業革命）、社会のスマート化（Society 5.0）等が提唱されています。これらの未来に向かう新しい諸活動には、「安全である」ことが大前提です。

新しい時代には、新しい安全の思想、技術、人間、組織に関する考え方が必要です。IGSAPは、世界と手を結びながら、これらの新しいニーズに適應した新たな安全の息吹を吹き込み、そして、その安全の実現に向けた活動を通して、社会の繁栄と人類の幸福に貢献することを目指しています。その一つが、現在、IGSAPが提案している協調安全という安全思想であり、協調安全をICTで実現するSafety 2.0という安全技術です。協調安全では、人、モノ、環境が情報を共有して、「安全」な環境の確保を基本として、「健康」で元気に、そして、安心して「ウェルビーイング」に仕事ができるようになることを目指しています。この「安全、健康、ウェルビーイング」という広い意味の安全の活動では、これまでの死傷者ゼロ、メンタル障害ゼロ等のマイナス領域をゼロにする活動だけでなく、生きがい、やりがいをもって前向きに仕事をするというゼロをプラスにする活動まで含む「ポジティブ安全」という考え方が背景にあります。

企業にとって「安全」は、持続的発展や成長に不可欠な要素です。顧客の安全、従業員の安全、企業経営の安全を願う企業及び経営者の皆さん、IGSAPのメンバーとして、新しい安全の実践、推進活動に積極的に参加してみませんか。「安全」による企業価値の向上に必ずお役に立てると確信しています。

主な活動実績

ACTIVITIES

2016年

- ・ 一般社団法人セーフティグローバル推進機構設立

2017年

- ・ 第1回国際安全シンポジウム開催
- ・ 第2回国際安全シンポジウム開催

2018年

- ・ Safety 2.0適合審査登録制度スタート
- ・ ロボット・セーフティアセッサ (RSA) 資格
認証制度スタート
- ・ 第3回国際安全シンポジウム開催

2019年

- ・ 第4回国際安全シンポジウム開催

2020年

- ・ セーフティオフィサ (SO) 資格認証制度スタート
- ・ IEC白書"Safety in the Future" (未来の安全)
企画編集

2022年

- ・ 第2回ビジョン・ゼロ・サミット・ジャパン
2022開催



VISION ZERO
SUMMIT JAPAN 2022



2023年

- ・ 書籍『実践! ウェルビーイング
世界最強メソッド「ビジョン・ゼロ」』企画編集
- ・ 第1回『Global Initiative for Safety,
Health and Wellbeing@EXPO2025
and BEYOND』会議開催
- ・ Well-being Tech International 2023
企画展示



IGSAPが提唱するホリスティックアプローチ

安全・健康・ウェルビーイング（Safety, Health and Well-being）を実現するためのホリスティックアプローチ

セーフティグローバル推進機構（IGSAP）は”働く人の安全・健康・ウェルビーイング（Safety, Health and Well-being）を推進しています。その実現手段としての「協調安全」を産業界に浸透させるため、私たちはホリスティック（holistic）（包括的）にアプローチしています。具体的には、「技術」、「マネジメント」、「人材」および「ルール形成」の4つの柱で構成されます。

技術

安全技術改革

- ・ 協調安全 / Safety2.0技術
- ・ リスク検知・報知・誘導
- ・ ウェルビーイング・テックへの展開

マネジメント

風土改革

- ・ 安全技術管理の仕組みづくり
- ・ 安全性と生産性の両立
- ・ 働き方改革に応じた環境整備

人材

意識改革

- ・ ポジティブ安全への意識改革
- ・ 階層別・職制別の要員資格化
- ・ 教育訓練計画と実践

ルール形成

プラットフォーム

- ・ 規格・認証制度の国際標準化
- ・ 世界共通のプラットフォーム
- ・ 関係機関による公的認知



働く人の安全・健康・ウェルビーイング

IGSAPが提唱するホリスティックアプローチ

協調安全
Safety2.0

セーフティオフィサ資格制度
ロボットセーフティアセッサ資格制度

技術

安全技術改革

- 協調安全 / Safety2.0技術
- リスク検知・報知・誘導
- ウェルビーイング・テックへの展開

マネジメント

風土改革

- 安全技術管理の仕組みづくり
- 安全性と生産性の両立
- 働き方改革に応じた環境整備

人材

意識改革

- ポジティブ安全への意識改革
- 階層別・職制別の要員資格化
- 教育訓練計画と実践

ルール形成

プラットフォーム

- 規格・認証制度の国際標準化
- 世界共通のプラットフォーム
- 関係機関による公的認知

トップマネジメント・コミットメント

国際標準化活動/
認証スキームオーナー

未来への贈り物
80億人の安全、健康、ウェルビーイング
The Gift for the Future "Safety, Health & Well-being for All"

開催日	2025 年 7 月 16 日(水)～19 日(土)
開催場所	大阪・関西万博会場（EXPO ホール EXPO サロン）、インテックス大阪
主催	株式会社 日刊工業新聞社、 一般社団法人 セーフティグローバル推進機構
推進団体	The Global Initiative for Safety Health & Well-being at EXPO2025 and Beyond（略称：GISHW）
後援	厚生労働省、外務省、経済産業省、国土交通省、大阪観光局、日本経済団体連合会、関西経済連合会、産業技術総合研究所、先端建設技術センター、中央災害防止協会、日本機械工業連合会、日本規格協会日本電気制御機器工業会、日本ロボット工業会、日本ロボットシステムインテグレータ協会、ファインバブル産業会、労働安全衛生総合研究所、ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会、日本労働安全衛生コンサルタント会、建設業労働災害防止協会、いのち会議、大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ
協賛	IDEC、ファインバブル産業会、MTG、東京科学大学、UL Research Institutes、職業安全健康局（香港）
参加国	67か国・地域
参加登録者数	総数 1385名（有料、無料参加者） 海外 498 名、国内 887名
主な参加者	国連専門機関（ILO、WHO など）、G20 各国代表、労働安全衛生団体、大学・労働安全研究機関、AI、ロボット、IoT等の新技術活用企業、安全・健康の実現並びに「ウェルビーイング経営」を推進する企業

《7つのグローバルイベント》

タイトルをクリックすると、イベントプログラムに直接アクセスできます。

ハイレベル・サミット

すべての人の安全、健康、ウェルビーイングについて、国際専門機関・団体とグローバル企業リーダーたちによる議論・意見交換

プロフェッショナル世界大会

労働安全衛生に関する専門家たちの世界大会。

8つのテーマで議論（4つのワークショップ）

国際シンポジウム

ポリシー・セッション（安全・健康・ウェルビーイングのための政策）

プラクティス・セッション（安全・健康・ウェルビーイングのための活動事例）

ILOユース कांग्रेस

デジタル時代の若者が考える職場におけるウェルビーイング

高校生・大学生対象のピッチコンテスト

フェスティバル

未来社会に繋がるウェルビーイング・テクノロジーなどを楽しみながら体感

展示会

未来モノづくり国際EXPO202、はたらく現場の環境展、ウェルビーイング・テクノロジー展、ウェルビーイング建設技術展、ウェルビーイング・ファインバブル産業展

国際標準化フォーラム

先端テクノロジーの開発・応用に重要となる国際標準化をテーマにするフォーラム

IGSAPとGISHW



IGSAPエグゼクティブ委員会

海外連携推進部会

「安全・健康・ウェルビーイング」推進機関・企業との連携・交流によるホリスティックアプローチの推進



GISHW推進担当部会

国際会議担当部会

国内連携推進部会

国内企業とのホリスティックアプローチ推進の連携・交流並びに会員企業への安全・健康・ウェルビーイングに関する情報提供

ホリスティックアプローチ推進担当部会

広報発信部会

IGSAP活動の発信

IGSAP beyond EXPO

IGSAPは、協調安全の普及・推進と、働く人の安全・ウェルビーイングの向上のため、多くの海外機関・企業と連携し、活動しています。



◆ IGSAPとMOUを締結し、EXPO2025でGISHW DAYSを推進してきた海外の組織・団体・企業